

持続可能な観光地づくり支援事業(市町村公募支援)について

[概 要]

1 目 的

入域観光客数の増加など沖縄観光は順調に推移しているが、その一方で観光客の増加による自然環境及び文化・歴史遺産等(以下、観光資源という)への影響が懸念されている。

今後とも、沖縄観光の持続的発展の基盤である豊かな観光資源の、保全・活用等を図りながら観光振興をおこなうために、市町村が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組を支援することにより、沖縄観光の持続的展開を図ることを目的とする。

2 事業内容

(1) 計画の策定等支援事業(ソフト事業)

	市町村名	観光資源等	事業内容等
1	大宜味村	猪垣(ヤマシシガキ)周辺の椿群落、と貴重植物。	村の文化財に指定されている猪垣(ヤマシシガキ)周辺には、椿群落が広がり、山々の自然と、そこからの眺望は絶景である。近年、山歩き等で不特定多数の人が入山するため貴重な植物等への影響が懸念される。本年度、保全活用計画の策定及び啓発のためのパンフレットの作成、ワークショップの開催を行う。
2	本部町	本部半島カルスト地域	本部半島の円錐カルスト地形は、我が国でも他に例がなく、世界的にも中国の桂林やベトナムのカオパン等に見られる熱帯カルスト地形群の最北端の分布地域となっており、沖縄海岸国定公園の一部にも指定されている。本年度、保全活用計画の策定を行う。
3	うるま市	津堅島西海岸の「クボウグスク周辺及びトウマイ浜」	クボウグスク帯は、野面積みの石積みが巡らされ、周辺から14～15世紀の輸入陶磁器等の破片が出土するなど貴重な文化遺跡となっている。周辺の植物群落、貴重動物や隣接するトウマイ浜の自然と併せ、その保全と活用を図る。本年度、保全活用計画の策定を行う。
4	豊見城市	豊崎干潟と周辺観光資源(豊崎ビーチ・豊崎海浜公園)	豊崎干潟は、クロツラヘラサギ、チョウサギなど貴重な渡り鳥の大切な餌場、休憩場であり、野鳥を至近距離から観察できる所となっている。隣接する豊崎海浜公園は、美しい夕陽や慶良間諸島が眺望できる那覇近郊の希少な場所である。近年、不特定多数の利用者による環境負荷と保栄茂川等から流入する汚濁物質等の干潟に与える影響が懸念されている。本年度、保全活用計画の策定を行う。

5	八重瀬町	琉名城海浜地域	琉名城海浜地域の陸域部は、具志頭城跡等の文化遺産が点在し、眼下に海が見渡せる眺望に優れた場所となっており、パラグライダーが行える県内有数の地域となっている。海岸部は、磯釣り、ダイビング等が楽しめる所となっており、近年、海藻の希少種である「カサノリ」の群生する地域としても注目されている。本年度、保全活用計画の策定及び啓発のためのシンポジウム、パネルディスカッションの開催を行う。
6	石垣市	宮良川流域、吹通川流域及び名蔵アンパル	宮良川及び吹通川流域は、マングローブ林を活用したカヌーによるエコツアー等が盛んに行われている。また名蔵アンパルは、河口部の干潟及びマングローブ域がラムサール条約に登録され、貴重な猛禽類、水鳥などが観察できる場所となっている。一方、利用者の急増によるトラブルや不法投棄、生活排水等による生態系への負荷等が懸念されている。本年度、保全活用計画の策定を行う。

(2) 環境保全型施設等整備事業(ハード事業)

	市町村名	観光資源等	事業内容等
1	東村	慶佐次湾のヒルギ林(国指定天然記念物)	慶佐次湾のヒルギ林は、年間約7万人の見物客と、カヌー体験やトレッキング等のエコツアーのフィールドとして年間約3万人、全体では年間約10万人が利用している。そのため、団体客等が周辺の民間施設等のトイレを利用するという事態が頻発している。本年度、環境配慮型トイレ及び環境保全に関する展示が可能な案内所の整備を行う。
2	粟国村	長浜ビーチ(通称ウーグ浜)	長浜ビーチは、島唯一の砂浜で、古くから憩いの場所として親しまれ、今でも海水浴やシュノーケリング、潮干狩りなどに利用されている。また、付近には、御獄や拝所があり神聖な場として村内外から参拝者が訪れる。既存のトイレ・シャワー施設は老朽化し、地中浸透型であるため、ビーチ周辺に対する環境の悪化が懸念されている。本年度環境配慮型のトイレ・シャワー施設の整備を行う。
3	竹富町	竹富島カイジ浜(通称星砂の浜)	カイジ浜は、その美しい自然景観と「星の砂」を見ることが容易なことから通称、星砂の浜として有名である。また、周遊観光のコースにも組み込まれていることなどから多くの観光客が来訪する場所である。上下水道インフラの基点から遠い海岸部である地域特性から、本年度、自立型の環境配慮型トイレの整備を行う。

※ 本事業の全体スケジュールは別添を参照願います。